

目次

第一部 日本古代宮都史の研究……………1

第一章 藤原京造宮試考……………3

——藤原京造宮史料とその京号に関する再検討——

はじめに……………3

一 倭京・新城・京・京師・新益京の再検討……………6

1 倭京・倭都……………7

2 新城……………12

3 京・京師……………17

4 新益京……………24

二 藤原京と藤原宮……………30

——いわゆる藤原京の京号をめぐって——

1 藤原京……………30

2 藤原宮……………38

むすび……………46

第二章 平城宮内裏の歴史の変遷

はじめに

一 平安宮内裏の構造

1 平安宮内裏の構造とその機能

2 平城宮第一次大極殿院地区第Ⅲ—1期遺構の再検討

3 長岡宮第二次内裏「東宮」の空間構造

二 平城宮内裏地区遺構の構造とその歴史の変遷

1 平城宮内裏地区の遺構変遷および構造に関する既往の見解

2 平城宮内裏地区遺構の構造とその歴史の変遷

三 平城宮内裏地区の歴史の変遷に関する諸問題

第三章 恭仁宮の二つの「内裏」

はじめに

一 恭仁宮における二つの「内裏」の発見

1 二つの「内裏」の概要

2 文献史料から見た恭仁宮と二つの「内裏」

二 太上天皇宮の変遷と恭仁宮の新宮

1 持統太上天皇宮

2 元明太上天皇宮

62

62

62

62

66

72

74

75

78

94

109

109

111

111

115

122

122

124

3 元正太上天皇宮——「新宮」・「中宮西院」——

4 聖武太上天皇宮

5 孝謙太上天皇宮——「西宮」——

6 光仁太上天皇宮

7 平城太上天皇宮——「平城西宮」——

むすび

第四章 紫香樂宮攷

一 紫香樂宮の宮号

はじめに

1 『統紀』に見る紫香樂宮の宮号

2 正倉院文書における紫香樂宮の宮号

むすび

二 複都制下における宮都の維持・管理

——天平一七年大糧申請文書の再検討——

はじめに

1 左右京職の所在——四通の左京職移・右京職移——

2 彷徨五年と留守官——『統紀』の留守官関係記事と左大舍人寮解——

3 遷都後の旧京統治

124

125

126

128

128

130

138

138

138

139

141

146

148

148

148

150

156

162

第五章

平安京の成立と官僚制の変質

むすび

はじめに

一 平安京・平安宮の成立過程

1 奈良時代末の平城宮——光仁・桓武朝の内裏改作

2 長岡京・長岡宮——伝統の継承と革新の試み

3 平安京・平安宮——理想の宮都

二 官僚制の変質と平安京・平安宮

1 天皇制の変容と太政官制

2 内裏の変貌

3 女性の政治・朝儀の場からの疎外

4 公卿の侍臣化と聴政の場の変化

5 使・所の常置化と別当制の始まり

6 氏の変質と新しい家の創出

むすび

第六章 平安宮の中心

——中院と縁の松原——

はじめに

166

173

174

174

174

178

182

187

187

188

190

192

194

196

197

200

209

209

209

第七章

平安宮・平安京の構造と変貌

はじめに

一 平安京・平安宮の規模と構造

1 平安京・平安宮の規模・形状

2 平安京・平安宮の構造

二 平安宮の衰微・平安京の変貌

1 平安宮の衰微

2 平安京の変貌

むすび

第八章

平安京は「たいらのみやこ」か?

237

238

248

248

250

254

262

267

第九章 日本古代宮都の獄

——左右獄制の成立と古代宮都の構造——

はじめに

一 平安京以前の宮都の獄

1 平城京の獄

2 平城京以前の獄——飛鳥・「藤原」京の獄——

3 恭仁京の獄——二通の刑部省解——

4 長岡京の獄

二 平安京の獄

1 左右獄と検非違使

2 囚獄司管下の獄

三 日本古代宮都の獄と唐長安・洛陽城の獄

むすび

第一〇章 史料から見た嵯峨院と大覚寺

——嵯峨院の成立から大覚寺の再興まで——

はじめに

一 嵯峨院の草創とその後の展開

1 嵯峨院略史——嵯峨院の創設から大覚寺の創建まで——

273 279 283 284 287 289 290 295 296 302 310 311 311 310 310 302 296 295 290 289 287 284 283 279 279 273 273

第二部 律令国家・宮都と喪葬・葬地

第一章 律令国家と喪葬

はじめに

一 治部省・諸陵司・喪儀司——喪葬官司の変貌と交替——

1 喪葬官司とその職掌

2 喪葬官司の変質

3 新たな喪葬官司の登場

二 土師氏——喪葬氏族からの脱皮——

1 土師氏と喪葬

2 土師氏と陵墓遣使

3 土師氏の喪葬からの離脱

むすび

316 339 342 344 383 385 385 385 386 388 393 397 397 399 402 405

第二章 古代貴族の営墓と「家」……………410
 — 『延喜式』卷二「諸陵寮陵墓条所載「陵墓歴名」の再検討を中心に」—
 はじめに……………410
 一 「陵墓歴名」に見る奈良時代貴族の埋葬……………411
 二 「陵墓歴名」に見る平安時代前期貴族の埋葬……………417
 1 長岡・平安京における貴族の葬地……………418
 2 平安時代前期における貴族夫婦の葬地……………421
 むすび……………424
 第三章 日本古代宮都における葬地の成立と展開……………429
 はじめに……………429
 一 宮都「藤原」京の出現にともなう葬地の成立……………430
 1 飛鳥浄御原宮期の葬地(天武元年(六七二)～持統八年(六九四))……………430
 2 「藤原」京と葬地(持統八年(六九四)～和銅三年(七一〇))……………433
 二 平城京と葬地(和銅三年(七一〇)～天平二年(七四〇)・天平一七(七四五)～延暦三年(七八四))……………437
 三 恭仁京と葬地(天平二年(七四〇)～天平一六年(七四四))……………445
 四 長岡京と葬地(延暦三年(七八四)～延暦一三年(七九四))……………447
 五 平安京と葬地(延暦一三年(七九四)以降)……………452

六 日本古代宮都の葬地と貴族……………461
 1 宮都の移動(遷都)と葬地……………461
 2 「陵墓歴名」に見る貴族夫婦の埋葬……………464
 むすびにかえて……………465
 あとがき……………473
 索引……………